

令和元年度進行管理・評価シート
佐賀市歴史的風致維持向上計画（平成24年3月5日認定）
（最終変更 令和2年3月24日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の実施・推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 佐賀市都市計画道路網の再編	2
2 景観計画の活用と景観条例の運用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 佐賀城公園整備事業	4
2 重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業	5
3 佐賀城堀の水の循環事業	6
4 松原公園整備事業	7
5 旧福田家住宅(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業	8
6 旧古賀銀行(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業	9
7 旧三省銀行(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業	10
8 重要文化財「与賀神社楼門」保存修理事業	11
9 重要文化財「与賀神社三の鳥居及び石橋」保存修理事業	12
10 歴史的風致形成建造物保存修理事業	13
11 長崎街道再整備事業	14
12 石橋再生事業	15
13 新馬場通り(松原神社参道)整備事業	16
14 周遊ルート環境整備事業	17
15 案内・説明看板及び誘導看板整備事業	18
16 ファサード整備事業	19
17 水路保全整備事業	20
18 緑化推進事業	21
19 佐賀市文化遺産活用事業	22
20 徴古館を活かしたまちづくり推進事業	23
21 地域文化保存・継承支援事業	24
22 まちづくりファンド活用事業	25
23 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金	26
24 佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金	27
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査・指定、保存管理計画の策定	28
2 文化財の修理(整備)、防災に関する事業	29
3 文化財に関する普及・啓発の取り組み	30
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	31
⑥その他(効果等)(様式1-6)	32
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	33

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
計画の実施・推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 当該計画の推進にあたっては、法第11条に基づく「佐賀市歴史まちづくり協議会」を中心に、事業実施に関する事項や計画変更に関する協議を行う。
 また、重点区域を対象とした歴史的風致の維持及び向上を図るための各種事業や取り組みを庁内の関係課で調整する「佐賀市歴史まちづくり事業調整会議」を設置し、円滑かつ効果的な事業推進を行うものとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 佐賀市歴史まちづくり協議会の開催：令和元年5月23日(木)、令和2年2月13日(木)
同協議会では、歴まち事業の進行管理や、計画変更に関する協議を行った。
- 佐賀市歴史まちづくり事業調整会議(担当者会議)の開催：令和元年5月17日(金)
同会議では、計画に記載した事業の実施について、関係部署の調整及び進行管理を行った。
※この他、各担当課において個別に実施協議を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

■第17回佐賀市歴史まちづくり協議会
 開催日：令和元年5月23日(木)
 開催場所：徴古館
 (議題)
 ・平成30年度事業進捗について
 ・歴まち事業現地視察
 ・令和元年度事業スケジュールについて
 ・事業中間評価について



【協議会現地視察の様子】

■第18回佐賀市歴史まちづくり協議会
 開催日：令和2年2月13日(木)
 開催場所：佐賀バルーンミュージアム レクチャースペース
 (議題)
 ・歴まち事業現地視察
 ・計画の変更について
 ・事業スケジュールについて

■佐賀市歴史まちづくり事業調整会議
 開催日：令和元年5月17日(金)
 開催場所：佐賀市議会棟第3会議室
 (議題)
 ・令和元年度事業スケジュール

※各課個別調整会議(随時開催)
 ・個別事業別に進捗管理等の協議



【事業調整会議の様子】

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
		現在の状況
佐賀市都市計画道路網の再編		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 平成17年度に旧佐賀市の都市計画道路を、平成18年度に旧大和町の都市計画道路の見直し案の公表を行った。
 今回の見直しでは、多布施川などに代表される緑あふれる自然環境への影響、良好な住環境やまちなみへの影響を重要視した内容となっている。
 廃止に向けての説明会を開催し、地元の理解を得られた路線から順次廃止の手続きを進めており、平成28年度末までに12路線12区間で廃止または計画の見直しの手続きが完了している。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

江戸時代の町割を継承する佐賀城下町において、時代に沿った都市計画道路の見直しにより、町割の大きな改変が行われることがなくなり、歴史的風致の維持向上に寄与した。
 ●令和元年度：1路線(尼寺小川線(W=13m L=1,670m))の廃止(一部区間見直し)について県と協議中。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

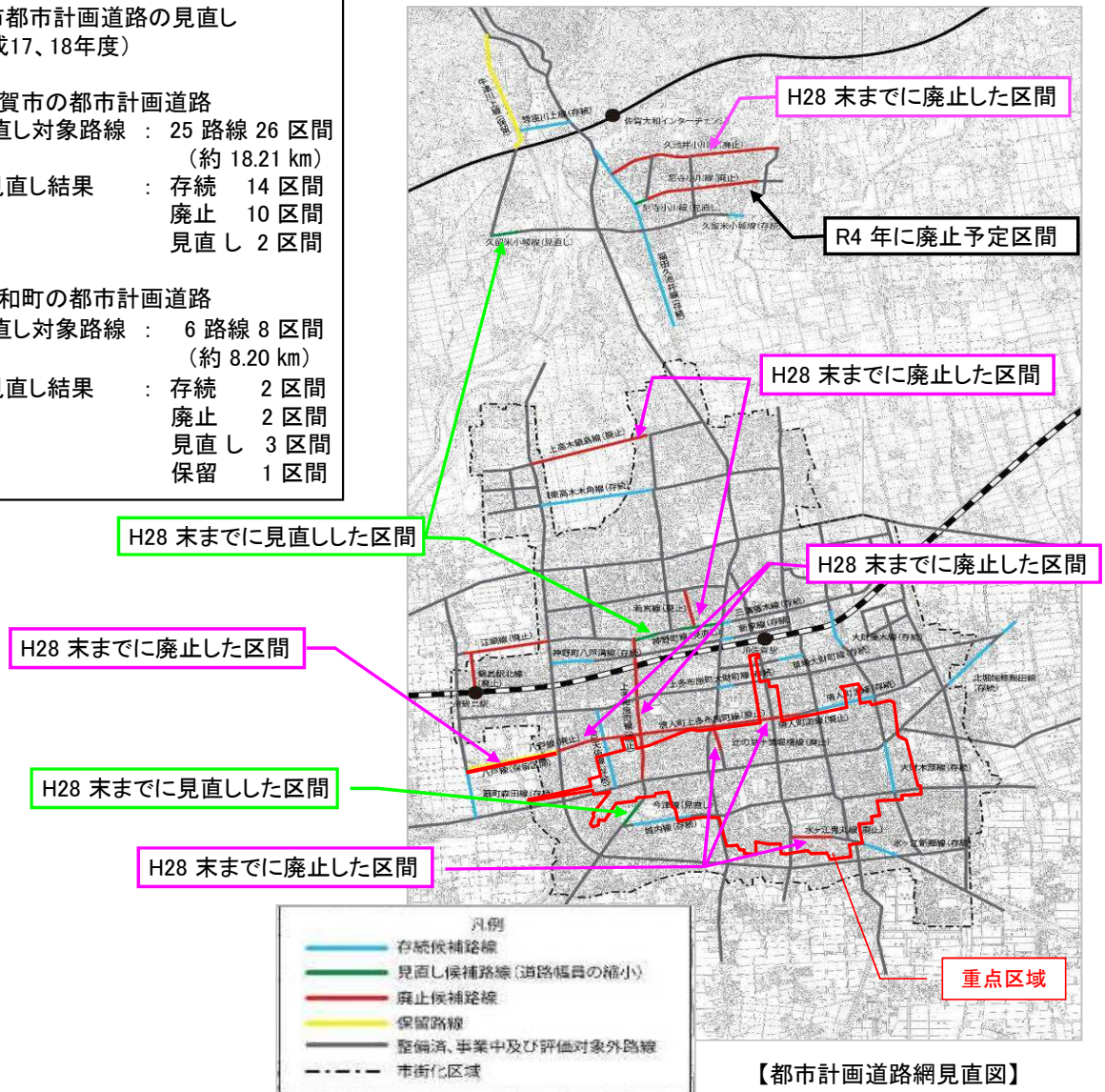
計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

佐賀市都市計画道路の見直し
 (平成17、18年度)

旧佐賀市の都市計画道路
 見直し対象路線：25路線 26区間
 (約18.21km)
 見直し結果：存続 14区間
 廃止 10区間
 見直し 2区間

旧大和町の都市計画道路
 見直し対象路線：6路線 8区間
 (約8.20km)
 見直し結果：存続 2区間
 廃止 2区間
 見直し 3区間
 保留 1区間



評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
景観計画の活用と景観条例の運用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 本市では、市町村合併に伴い、平成18年度に策定した景観計画を見直し、平成23年度に変更を行い、平成24年度から景観法に基づく佐賀市景観条例を施行した。
 景観計画では、市全域を「景観計画区域」とし、特に重点的に景観の誘導を図る必要があるエリアを「景観誘導エリア」と位置付ける。また、「景観誘導エリア」において、景観法に基づく景観に関するルールについて住民協議が整った地区を「景観形成地区」として指定していく。

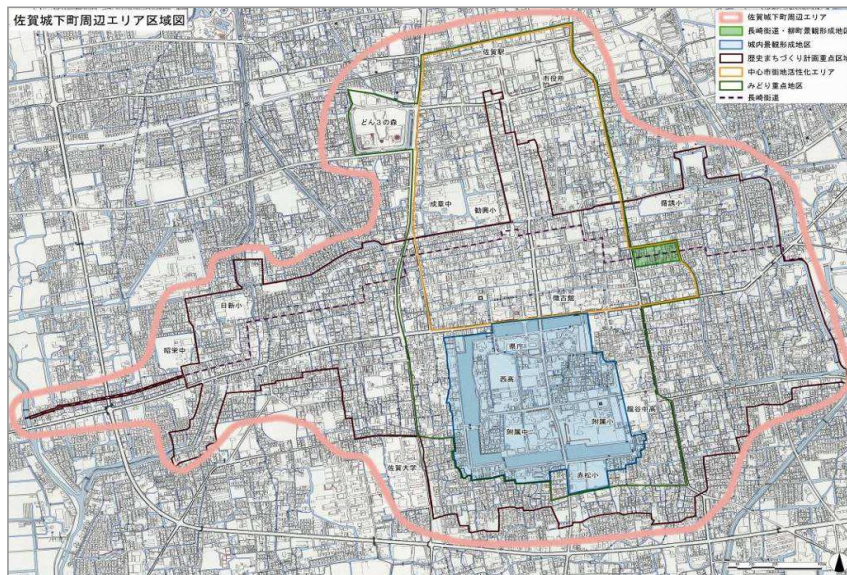
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち計画の重点区域を包含する景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」では、はり紙等の屋外広告物のパトロールや撤去を重点的に実施し、歴史的風致の維持向上に努めている。
 ●平成23年10月「景観条例」制定 平成24年1月「景観計画」策定 平成24年4月「景観条例」施行
 ●令和元年度：
 ○景観法に基づく届出等の件数
 市域全体：89件(景観形成地区を除く)
 長崎街道・柳町景観形成地区：2件
 城内景観形成地区：14件
 ○佐賀市景観賞受賞作品数：4件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【景観計画における「佐賀城下町周辺エリア」】

凡例		
佐賀城下町周辺エリア	長崎街道・柳町景観形成地区	城内景観形成地区
重点区域(歴まちづくり計画)	中心市街地活性化エリア	みどり重点区域



【違反屋外広告物撤去活動の様子】



【令和元年度景観賞受賞作品】

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
佐賀城公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 昭和43年度～

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)

計画に記載している内容 第二期工事として、昭和43年から公園計画区域を随時拡大しながら整備を続けてきている。現在、「歴史の森」地区として位置付けた佐賀城の本丸及び二の丸周辺の重点的な整備を進めており、「佐賀城下再生百年構想」に基づき、昭和13年・14年度に埋められた東堀の一部復元工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●令和元年度：平成30年度に開催した「佐賀城公園好生館立体駐車場跡地整備検討会」の結果をもとに、石積工事を実施。(西側石積 L=108m 施工完了)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【① 西側石積施工完了(南から)】



【② 東側石積施工状況(南から)】

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和3年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 この鯨の門は、天保6年(1835)から始まる本丸再建に際し、本丸の門として天保9年(1838)に完成した。昭和36年から昭和38年にかけて大規模な保存修理工事を行ったが、経年劣化により、門扉を中心に小修理が必要となったため保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●平成30年度、令和元年度：修繕工法等の検討

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化庁との協議の結果、石垣の耐震診断を併せて行う必要が生じたため、熊本城の石垣修繕の工法等を調査し検討を行う。
--	---

状況を示す写真や資料等

【重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」】



【西面から】



【東面から】

評価軸③-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
佐賀城堀の水の循環事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 多布施川から流入する佐賀城の城堀の水は、農業用水として管理され、城内の水路に流入していたが、現在はその機能が失われて堀の水位が下がったため、城内の水路に水が流れなくなっている。このため、流出口に樋門などを設置し、お堀の水位管理を行うとともに城内の水路の改修を行い、堀の水を城内に循環させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成28年6月：南堀ゲート設置完了
- 平成29年度：一部復元中の東堀について、南堀及び水路と接続(県事業)
- 平成30年度、令和元年度：東堀復元整備(県事業)によるお堀の貯留効果、城内の浸水軽減対策について、地元住民と意見交換

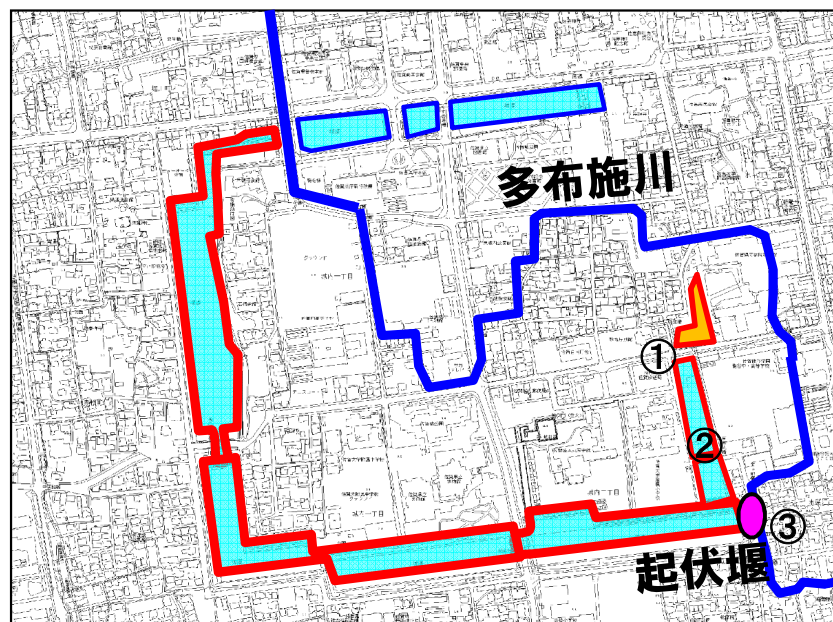
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

「佐賀市排水対策基本計画」及び「佐賀城公園整備事業」と調整及び連携しながら、今後の事業の方向性を検討する。

状況を示す写真や資料等



- 南堀ゲート(起伏堰)設置による貯水可能範囲
- R元年度以降東堀復元整備計画範囲



①復元東堀(北側)



②復元東堀(南側より)



③起伏堰

評価軸③-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
松原公園整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成30年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(関連社会資本整備事業)

計画に記載している内容
 松原公園は、全体計画区域を定めた上で借地公園の手法を用い、佐賀藩鍋島家伝来の歴史資料を所蔵・展示する徴古館周辺を第一期区域として整備を行ってきた。
 今後も整備可能な区域から公園区域を拡大し、緑地施設や広場などの整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●平成30年度、令和元年度：関係者協議

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	公園整備構想エリア内には店舗等が現存しているため、建物状況を見ながら公園拡大区域等について検討する必要がある。

状況を示す写真や資料等



【松原公園第一期整備エリアの現況(南から)】



【松原公園整備将来構想エリア図】

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧福田家住宅(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和2年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容

長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)の近くに建つ旧福田家は、入母屋造2階建を中心に、和洋それぞれの様式の応接室や数寄屋造の茶室などを配した大正期の近代和風建築で、佐賀市重要文化財に指定されている。
 佐賀市歴史民俗館として整備後10年以上が経過し、雨漏りや漆喰落ちなどが見られるようになったため、老朽化による損傷状態を調査した上で、保存のための整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成30年度：建物損傷調査、修復設計
- 令和元年度：工事準備、着工
- 令和2年度：改修工事

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【旧福田家(市重要文化財)】



【損傷状況(外壁の老朽化)】



【損傷状況(漆喰落ち)】

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧古賀銀行(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成30年度～令和元年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)の近くに旧古賀銀行は、明治39年(1906)に本店として現在地に新築、大正5年(1916)には西側が増築され、木造ながら二つの塔屋を備えたタイル張りの外観と吹き抜けを備える今の姿となった。
 佐賀市歴史民俗館として整備後10年以上が経過し、内壁漆喰の割れ、床の老朽化などが見られるようになったため、老朽化による損傷状態を調査した上で、保存のための整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度：建物損傷調査、修復設計
- 平成30年度：工事準備、着工
- 令和元年度：改修工事

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



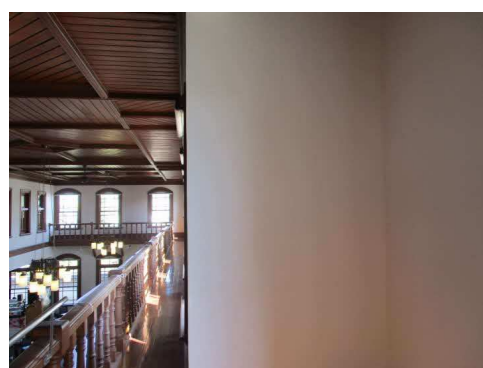
【外観(着工前)】



【外観(完成)】



【内部(着工前)】



【内部(完成)】

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
旧三省銀行(佐賀市歴史民俗館)保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 長崎街道沿いの柳町(景観形成地区)に建つ旧三省銀行は、明治15年(1882)に設立された三省社を、明治18年(1885)に銀行に改めたもので、明治26年(1893)に廃業、その後、医院として昭和51年(1976)まで使用された。外観は上方に向かってふくらみを持つ屋根や大胆な形状の窓など、他に類例のない個性豊かな建造物である。
 佐賀市歴史民俗館として整備後10年以上が経過し、漆喰落ちなどが見られるようになったため、老朽化による損傷状態を調査した上で、保存のための整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和元年度：建物損傷調査、修復設計
- 令和2年度：工事準備、着工
- 令和3年度：改修工事

進捗状況 ※計画年次との対応

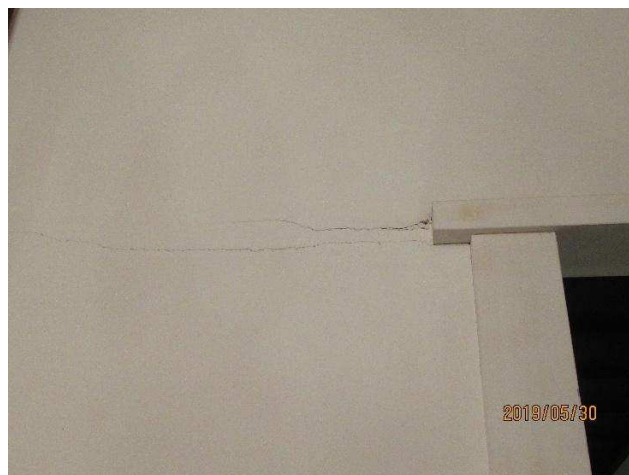
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【旧三省銀行(市重要文化財)】



【損傷状況(内壁)】

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
重要文化財「与賀神社楼門」保存修理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成28年度～令和元年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 この楼門は、建築以来これまで数回の修理が行われ、現在まで継承されてきた。最近では、昭和25年～昭和27年に全解体修理が行われた。その後、昭和49年に塗装の塗り替えを行ったが、塗装されている赤色顔料の経年変化により退色が認められるため、今回保存修理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

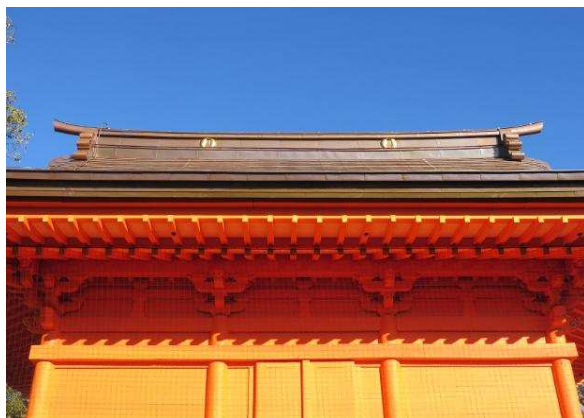
- 平成28年度：所有者協議
- 平成29年度：所有者協議、内部調査
- 平成30年度：耐震診断、補強案の検討及び仮設工事
- 令和元年度：屋根葺き替え及び塗装工事、耐震補強工事

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【正面(西面)】



【正面(西面)化粧軒裏】



【耐震補強工事(合板補強)】

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
重要文化財「与賀神社三の鳥居及び石橋」保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年度～令和2年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 この石橋は、橋脚は3本併立の6列で、擬宝珠10個がついている石造反橋であり、勾欄唐金製擬宝珠の陰刻銘に慶長11年(1606)佐賀藩藩祖鍋島直茂が寄進したとある。
 今回、経年変化による石橋の石材の緩み補正のための保存修理を行う。また、耐震診断の結果、補強が必要と判断されたため、三の鳥居及び石橋の耐震補強工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成28～29年度：所有者協議
- 平成30年度：耐震診断、補強案の検討
- 令和元年度：保存修理工事
- 令和2年度：耐震補強工事

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●令和元年度 保存修理工事後



【三の鳥居(西面)】



【三の鳥居(北側柱)】



【石橋(南面)】



【石橋高欄(南面)】

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
歴史的風致形成建造物保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 ー

計画に記載している内容 重点区域内に点在する伝統家屋や寺社建築などの歴史的建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、修理に対する助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和元年度：補助実績なし
- 歴史的風致形成建造物指定：1件(旧馬場家住宅/令和2年2月18日指定)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

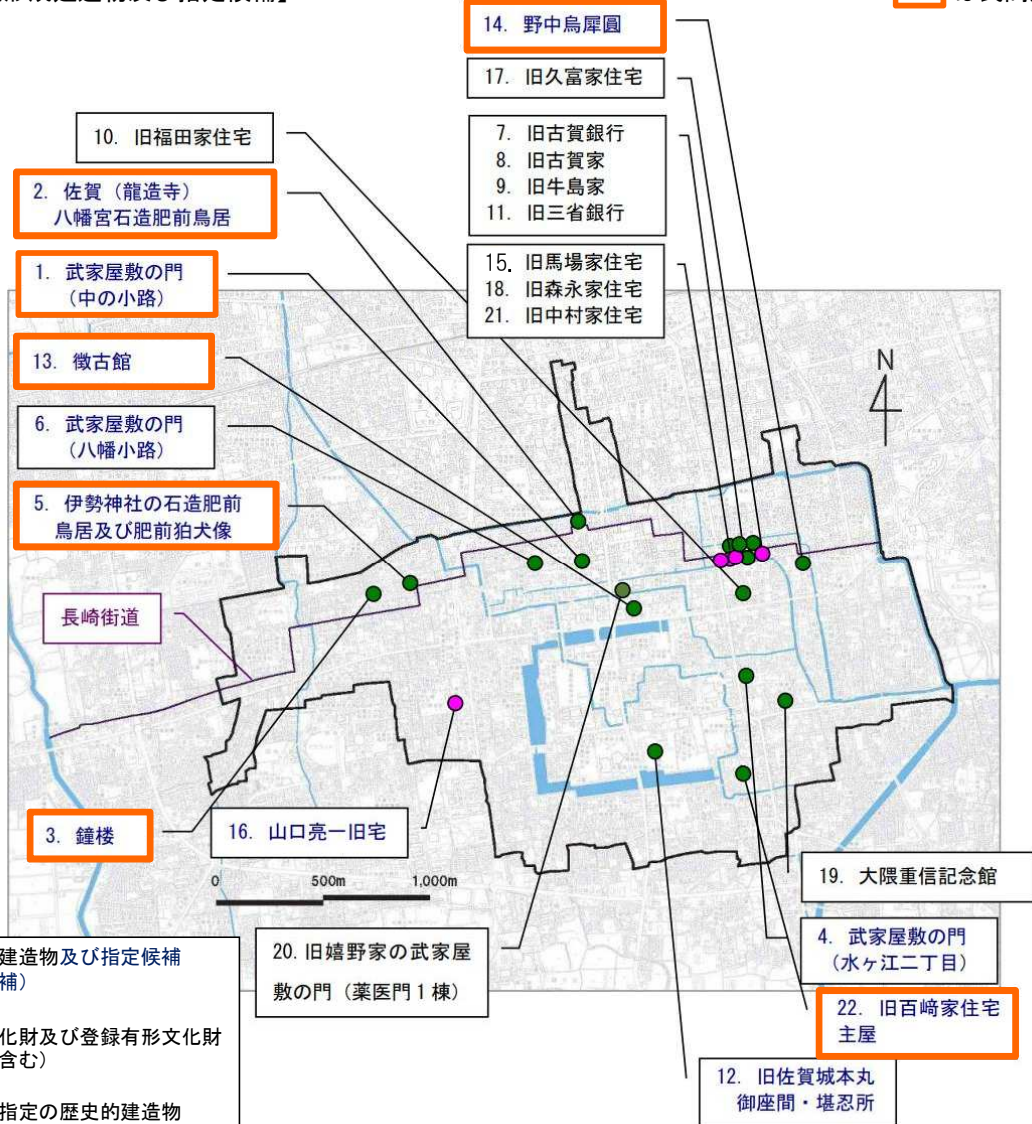
計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

令和元年度までに指定した物件はすべて市所有の物件であり、今後必要に応じて追加指定、保存修理を検討していく。

状況を示す写真や資料等

【歴史的風致形成建造物及び指定候補】

は民間所有



評価軸③-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
長崎街道再整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 曲がり角が多い長崎街道は道筋がわかりにくい上に、新たな都市計画道路や開発で分断されている部分もある。このため長崎街道沿線に残る歴史的建造物や赤石護岸、棚路を探访しながら、気軽に長崎街道を歩けるように、長崎街道の道筋を明確化する舗装の高質化事業を行う。

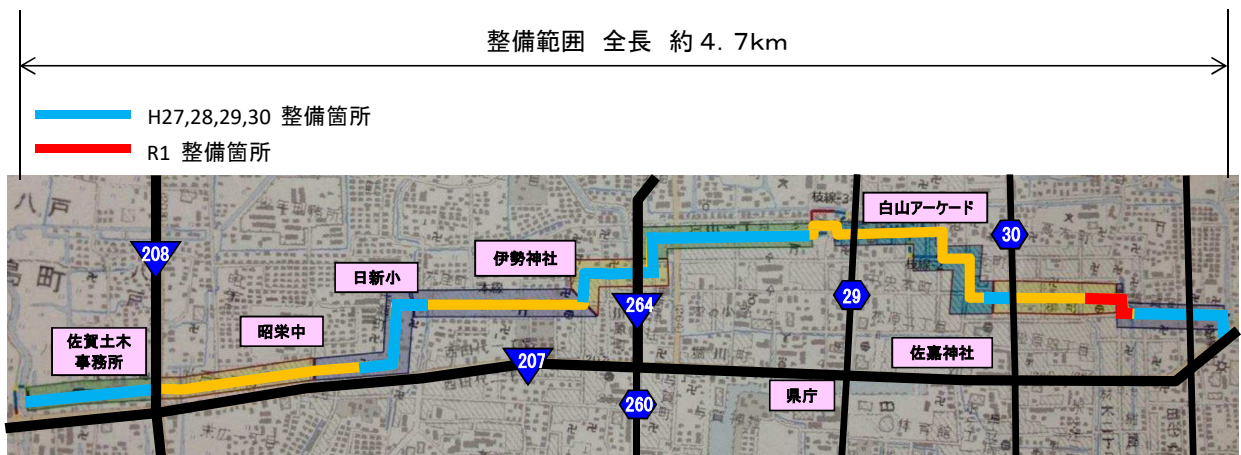
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成26年度：測量設計(委託)実施、整備計画策定
- 平成27年度：整備延長 L=750m
- 平成28年度：整備延長 L=455m
- 平成29年度：整備延長 L=600m
- 平成30年度：整備延長 L=420m
- 令和元年度：整備延長 L=236m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



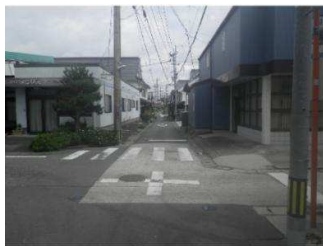
【令和元年度整備箇所：柳町】



【着工前】



【完成】



【着工前】



【完成】

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
石橋再生事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 水路に架けられている橋は、上面はアスファルトなどに覆われているが、その下には今でも石橋が残っている。このため、城下町の石橋の悉皆調査と再生方法の検討を行い、石橋を表面に出す再生事業を、特に長崎街道や周遊ルートを中心として行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成25年度：悉皆調査
- 平成26～27年度：再生手法検討
- 平成28年度：老朽化石橋改修箇所検討
- 平成29年度：老朽化石橋(2基)調査・設計
- 平成30年度：老朽化石橋(2基／古賀善橋、成就院橋)改修工事
- 令和元年度：石橋保全方法の再検討

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

事業当初の目的であったアスファルトに覆われた石橋の再生については、桁橋の経年劣化等を検証することが非常に困難であり、通行の安全性を担保できないため現状では難しいと思われることから、他の方法による石橋保全を検討していく。

状況を示す写真や資料等



【橋面に石橋が見える成就院橋(改修後)】



【アスファルトで橋面が覆われている思案橋】

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
新馬場通り(松原神社参道)整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成30年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)
計画に記載している内容	松原神社参道は、かつては木・銅・石の鳥居及び両脇参道に灯笼などが立ち並び、沿線には旅館などが建ち賑わっていたが、現在は石の鳥居が唯一残っている状態である。 現在、市民団体による参道の復活を目指したまちづくりが進められており、この運動と連携した松原神社参道(市道)の高質化事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度：新馬場通りデザインルール策定
- 平成30年度、令和元年度：関係者協議

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【大正時代頃の参道(東から)】



【現在の新馬場通り(東から)】



【整備イメージ】

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
周遊ルート環境整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容
 歴史的建造物等やまちなみを見ながら、自転車で快適に周遊できるよう周遊ルートや駐輪場などの整備を行う。
 また、多布施川などの周遊ルートの沿道には、ガードレールなどの防護柵、標識が設けられているが、景観への配慮が足りないものが多いため、景観に配慮した防護柵などの改修を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

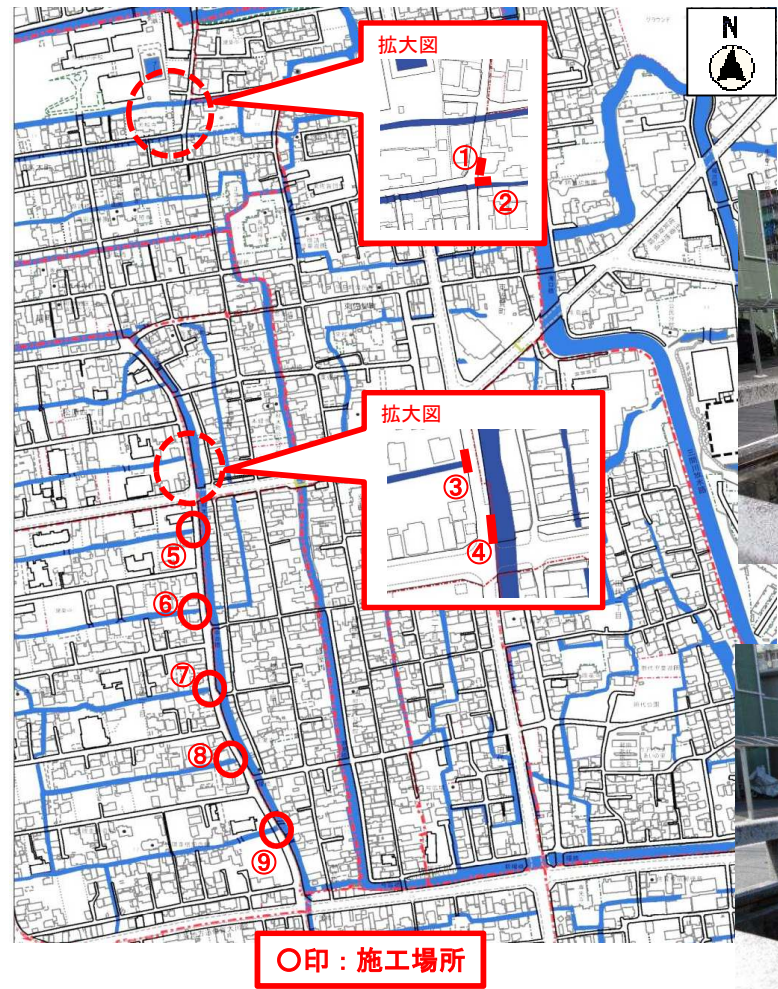
- 平成27年度：防護柵分布図(H24年作成)及び現地調査(H26)をもとに整備箇所を選定し、整備計画を策定
- 平成28年度：防護柵整備(3か所)、鳥居ゲート塗装工事
- 平成29年度：護国神社北側防護柵整備
- 平成30年度：次年度整備の検討
- 令和元年度：防護柵整備(9か所)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

【整備箇所位置図】



【防護柵整備状況】



【着工前】



【完成】

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	
案内・説明看板及び誘導看板整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成25年度～令和3年度
支援事業名	重点区域内：社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 重点区域外：市単独事業
計画に記載している内容	案内・説明看板や誘導看板に関して、統一感あるデザインを作成し設置を行う。 重点区域外において、合併前の各市町村それぞれのデザインで設置されてきた案内・説明看板や誘導看板についても、同じデザインの看板の設置を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成26年度：整備計画策定
- 平成27年度：案内看板2基、説明看板8基、誘導看板9基
- 平成28年度：案内看板2基、説明看板10基、誘導看板5基
- 平成29年度：案内看板5基、説明看板11基、誘導看板5基
- 平成30年度：案内看板3基、説明看板7基、誘導看板6基
- 令和元年度：案内看板1基、説明看板13基

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

【令和元年度案内板等設置箇所】



【 ■ 案内看板】



【 ● 説明看板(大)(中)(小)】

評価軸③-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
ファサード整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 佐賀市ふるさとづくり基金

計画に記載している内容 事業箇所は長崎街道の一部であり、まちなかと佐賀市歴史民俗館を結ぶ周遊ルートとして重要な道路である。この通りには、江戸時代から昭和にかけての様々な意匠の建造物があるものの、現在看板に覆われており、直接その外観を見ることができない。このため、各建造物が持つ意匠を活かす改修などに対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成29年度：補助1件
- 平成30年度、令和元年度：実績なし

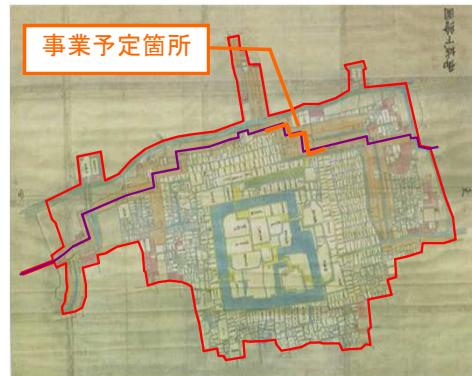
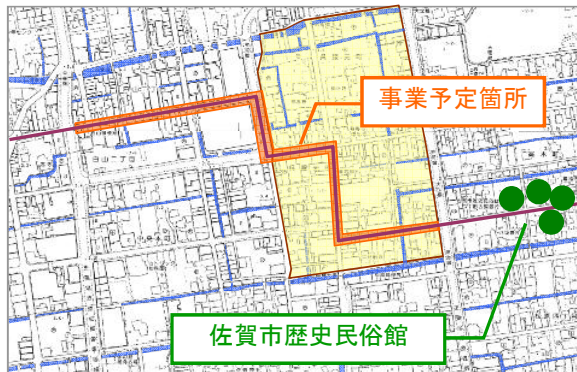
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

市報、ホームページのほか、商店街組合等へのPRを行う。

状況を示す写真や資料等



【事業予定箇所の現況】

評価軸③-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
水路保全整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 長崎街道や周遊ルートの橋上から見える水路の範囲を指定し、石積護岸や水辺に下りる階段状の柵路の復元・整備のための事業やそうした事業に対する助成を行い、橋上などから見える景観を保全する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 平成26年度：補助2件
- 平成27年度：石積護岸修復、柵路復元(旧森永家住宅、旧牛島家、旧久富家住宅)
- 平成28年度：補助実績なし
- 平成29年度：補助1件
- 平成30年度、令和元年度：補助実績なし

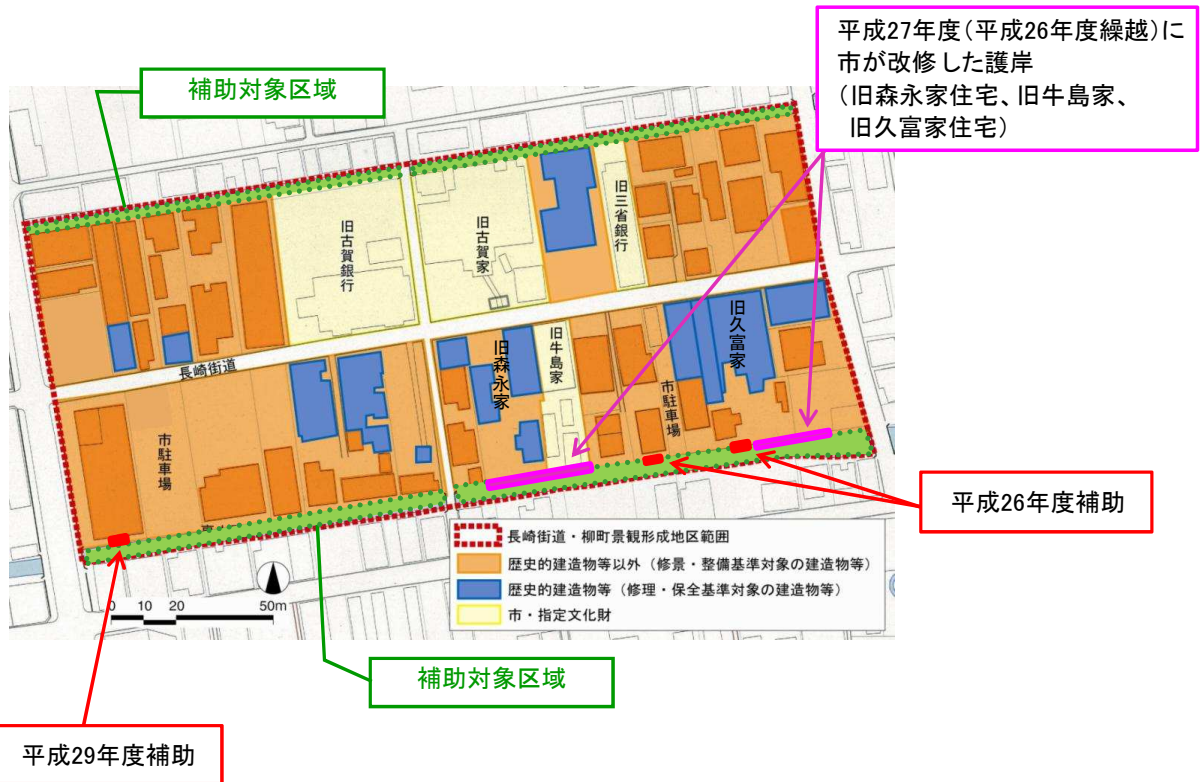
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

補助対象範囲の未整備箇所について、助成制度の周知を図る。

状況を示す写真や資料等



【着工前】



【完成】

評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
緑化推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成24年度～令和3年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(地域住宅計画に基づく事業)助成制度 市単独事業
計画に記載している内容	平成20年度に施行した「佐賀のみどりあふれるまちづくり条例」に基づき、緑化を重点的に推進する区画として、佐賀市歴史的風致維持向上計画に重点区域の一部とその周辺を対象に平成23年8月に「みどり重点地区」を指定した。 これにより、公共施設敷地や周遊ルートにおける緑化の推進や民有地の緑化の推進を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- みどり重点地区内の事業
 - ・緑化啓発活動：15件
 - ・自治会やボランティア等が行う地域環境緑化活動への支援：20団体(花苗20,512苗)
 - ・緑化に関する計画の完了：4件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【花づくりボランティア活動(唐人町まちかど広場)】



【寄せ植え講座(どんどんの森)】



【寄せ植えコンテスト(旧古賀家)】



【パークメイト活動(市役所前公園)】

評価軸③-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
佐賀市文化遺産活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～

支援事業名 伝統文化親子教室事業

計画に記載している内容 さが城下まちづくり実行委員会及び伝統文化親子教室を主催する団体が、文化遺産を活用し事業を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 令和元年度
 - さが城下まちづくり実行委員会の活動
 - ・佐賀の歴史、文化関連団体による連携協力を図るため、年6回の定例会を実施した。
 - ・歴史まち歩きイベント「佐賀城下探訪会」を開催した。
 - 伝統文化親子教室事業
 - ・いけばな、茶道、和太鼓、能等の親子教室を、20団体が実施した。
 - 佐賀市、佐賀市教育委員会及び佐賀県は実行委員会に参加し、市民主体の活動を支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●佐賀城下探訪会



・「龍造寺家と鍋島家 東めぐり」
令和元年10月20日(日) 参加者 98人



・「龍造寺家と鍋島家 西めぐり」
令和元年12月1日(日) 参加者 95人

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
徴古館を活かしたまちづくり推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業

計画に記載している内容
 (公財)鍋島報効会と佐賀市との間で締結した「徴古館を活かしたまちづくり基本協定」(平成20年10月3日締結)及び「まちづくりに関する基本協定」(平成31年3月8日締結)に基づき、徴古館が有する鍋島家伝来の歴史資料を活用したまちづくりを進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

鍋島家伝来の歴史資料や美術工芸品を所蔵する公益財団法人鍋島報効会が運営する徴古館(登録博物館)で、企画展及び企画展に関連した各種イベントを開催した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●企画展

- 「伝来品でたどる鍋島家の歴史－佐賀藩主から侯爵へ」 入館者数 1,914人
 - ・第1期展示：令和元年5月20日(月)～7月20日(土) 特集「皇室と鍋島家」
 - ・第2期展示：令和元年8月19日(月)～10月19日(土) 特集「仙台伊達家からの御輿入れ」
 - ・第3期展示：令和元年11月11日(月)～12月27日(金) 特集「直正公の娘たち－貞姫、宏姫、昶姫」
- 「鍋島家の雛祭り」 令和2年2月11日(火・祝)～3月15日(日) 入館者数 5,410人 関連イベント参加数 2,158人

The image shows a collage of exhibition posters. On the left, there are three posters for the 'History of the Goto Family' exhibition, each featuring different historical artifacts like masks, ceramics, and furniture. On the right, there is a larger poster for the 'Goto Family Doll Festival' (雛祭り) held from February 11 to March 15, 2020. This poster includes details about the festival's location, dates, and featured events like 'Doll Festival' and 'Goto Family Doll Festival'.



【企画展の様子】

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
地域文化保存・継承支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成21年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 地域資源を次期世代に引き継ぐため、地域資源を維持・保全及び継承するための地域活動又は地域資源を活かした地域活性化の活動を行う団体に対し財政的支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(令和元年度採択事業/概要)

- 伝統芸能等に係る衣装ほかの修繕等事業 1件
 - ・祇園祭提灯購入事業/蓮池町にある八坂神社の祇園祭で神埼町自治会が使用する提灯を新調した。
- 地域の自主的な活動(地域資源の保存継承)事業 4件
 - ・八坂神社倉庫屋根改修/蓮池町にある八坂神社で神輿等を保管している倉庫を修繕した。
 - ・記憶遺産の「昭和の諸富町」写真集の発行业事/昭和の諸富町の写真等をまとめた冊子を作成・配布した。
 - ・猿若神社改修工事/富士町上熊川にある猿若神社を改修した。
 - ・腹切地蔵祠堂の建て替え及び保存継承事業/大和町松梅地区にある腹切地蔵祠堂の建て替えを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



【祇園祭提灯購入事業】

【腹切地蔵祠堂の建て替え及び保存継承事業】



【着工前】



【完成後】

評価軸③-22

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
まちづくりファンド活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成23年度～令和3年度

支援事業名 佐賀市ふるさとづくり基金

計画に記載している内容
 佐賀市ふるさとづくり基金を活用し、次の事業を実施する。
 ① 市民主導のまちなか「通り」導線づくり事業
 ② 歴史的建造物等を生かした交流とにぎわいづくり事業
 ③ 重要建造物等活用事業

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

(令和元年度採択事業)

●市民主導による街なか通り導線づくり事業 1件：ツースリービル合同会社

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



【着工前(外観)】



【完成後(外観)】



【着工前(内装)】



【完成後(内装)】

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
佐賀市指定文化財維持管理謝礼金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 佐賀市指定文化財を維持及び管理する個人・団体に対し、謝礼を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市指定文化財維持管理謝礼金 90件
 (目的)
 市指定文化財の適正な維持管理を行っている所有者(又は管理者)に対し謝礼金を支払うことにより、所有者等としての自覚並びに文化財愛護の意識高揚を図る。

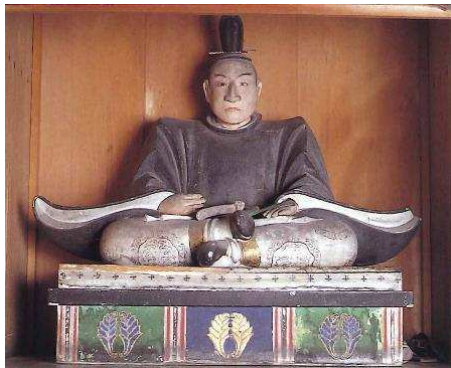
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

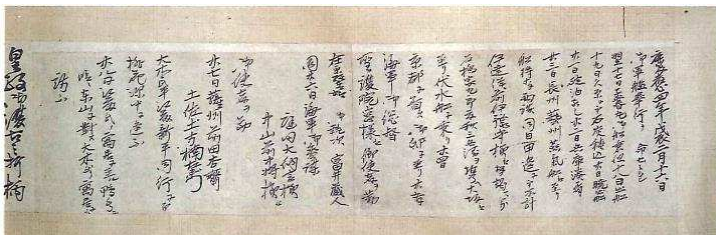
- 令和元年度 佐賀市指定文化財維持管理謝礼金一覧
 - 佐賀市指定重要文化財の管理者：58件
 絵画 4件、建造物 12件、工芸品 12件、古文書 3件、書跡 3件、彫刻 14件、美術工芸 3件、歴史資料 6件、石造物 1件
 - 佐賀市指定重要有形民俗文化財の管理者：8件
 - 佐賀市指定史跡の管理者：12件
 - 佐賀市指定天然記念物の管理者：12件



木造鍋島忠直坐像(1軀)
市重要文化財(彫刻)
所有者等 高伝寺



大湫槃像
市重要文化財(絵画)
所有者等 高伝寺



島義勇の旅日記(1巻)
市重要文化財(書跡)
所有者等:個人



大小野の石楠花(1株)
市天然記念物
所有者等 個人

評価軸③-24

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成21年度～
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	国・県・市指定無形民俗文化財の保存団体などに対し、同団体などが実施する無形民俗文化財を継承していく取り組みを支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

●佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 12無形民俗文化財 13団体
 国・県・市指定の無形民俗文化財の継承を支援することを目的とし、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、無形民俗文化財の保存会等が実施する活動(行事の運営等の活動に係る経費、継承等につながる活動に係る経費)に対し、補助金を交付する。

●指定無形民俗文化財保存会代表者会の開催 12無形民俗文化財 13団体
 指定無形民俗文化財保存会の代表者が集まり、事例発表や情報交換を行うことにより、団体間の連帯感を強め、今後の無形民俗文化財の保存継承につなげる。

●文化財総合活用推進事業
 指定無形民俗文化財の保存会の代表者で構成される佐賀市文化財総合活用推進事業実行委員会が、文化庁及び市からの補助を受けて無形民俗文化財の映像記録を作成し、各保存会の活動等において活用を図る。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	
--	--

状況を示す写真や資料等

■佐賀市無形民俗文化財継承支援補助金 申請一覧

	名称	文化財指定	所在地	奉納場所	保存会等名称
1	白鬚神社の田楽	国指定	久保泉町川久保	白鬚、勝宿神社	「白鬚神社の田楽」保存会
2	見島のカセドリ	国指定	蓮池町見島	熊野神社	加勢島保存会
3	浮立玄蕃一流	市指定	神野町西神野	掘江神社	東神野天衝舞浮立保存会
					西神野浮立保存会
					草場浮立会
4	高木八幡ねじり浮立	市指定	高木瀬町東高木	高木八幡宮	高木八幡ねじり浮立保存会
5	小松の浮立	市指定	蓮池町小松	小松神社	小松浮立保存会
6	三重の獅子舞	県指定	諸富町為重	新北神社	諸富町無形文化財保存会
7	太田の浮立	市指定	諸富町太田	太田神社	
8	市川の天衝舞浮立	県指定	富士町市川	諏訪神社	市川天衝舞浮立保存会
9	海童神社奉納浮立	市指定	川副町犬井道	海童神社	海童神社奉納浮立保存会
10	松枝神社奉納浮立	市指定	川副町大詫間	松枝神社	松枝神社奉納浮立保存会
11	東与賀銭太鼓	市指定	東与賀町	不定	東与賀銭太鼓を育てる会
12	快万浮立	市指定	久保田町快万	香椎神社	快万浮立保存会

■指定無形民俗文化財保存会代表者会 (平成31年4月24日開催) 12無形民俗文化財、13団体

- ・行政や民間の助成金及び補助金の説明
- ・各団体の課題・問題点などの意見交換

■文化財総合活用推進事業

- ・令和元年度映像記録作成無形民俗文化財 2件(三重の獅子舞、高木八幡ねじり浮立)

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の調査・指定、保存管理計画の策定		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- 未指定の文化財については、文化財としての価値調査を行い、その結果に基づき指定・登録を行うとともに、その保存と活用に努める。
- 個々の文化財の状況を確認しながら、保存活用計画の策定に向けて検討を進めていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財調査
 - 市域全体 確認調査131件 本調査10件
 - うち歴まち計画重点区域 確認調査 13件 本調査 0件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

●重点区域内確認調査状況



【思案橋荷揚場跡 遺構検出状況(北から)】



【思案橋荷揚場跡 遺構検出状況(南から)】

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
文化財の修理(整備)、防災に関する事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- 指定文化財の保存修理にあたっては、佐賀市以外の所有の場合は、所有者などとの連携を図りながら適切な保存修理を行い、また、市所有の指定文化財については計画的な保存修理を行う。
- 既指定文化財建造物のうち、消防施設が老朽化しているものや型式が適合しないものについては、速やかに消防設備の設置を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 文化財の修理
 - 佐賀県重要文化財 香椎神社四脚門(1棟)保存修理事業
 - 佐賀市重要文化財 御位牌所(1字)附木造阿弥陀如来坐像(1軀)御位牌(202霊分)保存修理事業
 - 佐賀市重要文化財 江里天満宮石造多宝塔(1基)保存修理事業
 - 佐賀市重要無形民俗文化財 高木八幡ねじり浮立用具整備事業
 - 佐賀市重要無形民俗文化財 快万浮立用具整備事業
 - 佐賀市重要無形民俗文化財 松枝神社奉納浮立用具整備事業
 - 佐賀市重要無形民俗文化財 小松の浮立用具整備事業
- 防災関係の取り組み
 - 文化財防火訓練
 - 令和2年1月26日(日) 吉村家住宅(重要文化財)
 - 令和2年1月26日(日) 勝宿神社本殿(佐賀市重要文化財)
- 防犯対策の取り組み
 - 重要文化財である佐賀城鯨の門及び続櫓や、市指定の文化財を収蔵している肥前国庁跡資料館、文化財資料館について、警備委託を実施。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

●文化財の修理



佐賀県重要文化財
香椎神社四脚門保存修理事業



佐賀市重要無形民俗文化財
松枝神社奉納浮立用具整備事業
(大太鼓の革の張替え)

●防災関係の取り組み



文化財防火訓練 令和2年1月26日(日)
(重要文化財 吉村家住宅)



文化財防火訓練 令和2年1月26日(日)
(佐賀市重要文化財 勝宿神社本殿)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
文化財に関する普及・啓発の取り組み		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

●文化財に関する普及啓発の取り組み
 まちづくりの市民団体と連携し、市民や来訪者に対する歴史資産の情報提供を積極的に行い、当市の魅力を伝えることが重要である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- 主な普及啓発事業
 - ・歴史、文化をテーマとした講演会や出前講座の開催

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

- 歴史・文化施設 令和元年度来場者数
 - ・徴古館：9,576人(企画展「伝来品でたどる鍋島家の歴史」「鍋島家の雛祭り」、その他イベント)
 - ・大隈重信記念館：11,278人(企画展「明治を過ごした大隈邸」、その他イベント)
 - ・佐賀市歴史民俗館：82,454人(佐賀城下ひなまつり、県維新博メモリアル展示「葉隠」、公募イベント)
 - ・佐野常民記念館：72,972人(企画展「地図にまつわるエトセトラ」「佐野常民 救護の歩み」、その他イベント)
 - ・さが水ものがたり館：10,250人(子どもの石井樋フェア、嘉瀬川交流塾、その他イベント)
- 歴史・文化に関する公民館講座：開催回数 180回、参加人数 延べ5,698人
- その他、シンポジウム・講座・イベント等

NO	事業名	開催日	参加人数	事業内容
1	東名遺跡出前授業	4月9日～6月27日 (20日間)	16校 1,199人	東名遺跡からの出土遺物を実際に見たり触れたりすることで興味を持たせ縄文人の食生活や高度な技術力を体感させる。また小学校で出土遺物のミニ展示を実施
2	東名遺跡体験学習 (貝輪づくり)	7月27日	小学生 20名 保護者 15名	現生のベンケイ貝を材料に、石と鹿角を使って貝輪を作成した。
3	親子遺跡めぐりバスツアー	8月7日	21名	小学校高学年の児童とその保護者を対象とする東名遺跡や肥前国庁跡等を巡るバスツアーを開催した。
4	みえつ講座 (佐野常民記念館)	8月31日～2月15日 (7回開催)	465名	身近な佐賀の歴史にふれてもらうため、三重津海軍所跡や世界遺産「明治日本の産業革命遺産」、幕末佐賀藩の偉人等にスポットを当てた歴史講座を開催した。
5	古文書講読会 「古文書を読んでみよう」	9月7日～12月7日 (4回開催)	130名	明治期に書かれた佐賀の旧城下町案内記「佐賀の道しらべ」を解説する講座を開催した。
6	東名遺跡企画展 (東名縄文館・市立図書館・吉野ヶ里展示室)	10月9日～2月9日	19,677名	『縄文貝塚を知る 一整備・活用の可能性を探る』と題し、東名遺跡の貝塚から出土した遺物を中心に展示し、縄文貝塚について解説した。また、現行っている活用事業や先進地(縄文貝塚)の整備・活用の状況をパネル等で紹介した。
7	肥前国庁講座 「古代肥前国の郡衙と関連遺跡」	10月19日～1月18日 (4回開催)	99名	古代肥前国の各郡(高来郡、養父郡、三根郡)の調査担当者を招き、各地域における古代遺跡調査成果を解説した。
8	肥前国庁企画展 「古代肥前国の郡衙と関連遺跡」	11月23日～3月1日	659名	肥前国庁講座で実施した肥前国の高来郡・養父郡・三根郡の郡衙や関連遺跡の発掘調査で出土した古代の遺物を展示した。
9	東名遺跡シンポジウム	11月30日	99名	東名遺跡の特徴の一つである貝塚を取り上げ、東日本を代表する縄文貝塚の調査のみならず、整備活用に携わる研究者を招き(史跡 里浜貝塚、史跡 吉胡貝塚)、各遺跡の価値と整備活用についての講演とパネルディスカッションを行った。
10	東名遺跡体験学習 (編みかごワークショップ)	1月25日	41名	東名遺跡から出土した編みかごをモデルに、クラフトテープを使って編みかごづくりを体験してもらった
11	三重津海軍所跡発掘体験	2月16日	10名	世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産である三重津海軍所跡で、主に小学生以上の子どもたちを対象とした発掘体験イベントを実施した。

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
江戸時代の船着き場発見 佐賀市柳町 石段など状態良好	令和元年6月26日	佐賀新聞	
江戸時代の船着き場遺構の発掘説明会 佐賀市柳町 150人詰め掛け	令和元年6月30日	佐賀新聞	
カノン砲祝砲、迫力のごう音 佐賀城本丸歴史館開館15周年	令和元年8月1日	佐賀新聞	
ドック模型、動画で視覚的に 三重津海軍所跡屋内展示	令和元年8月27日	佐賀新聞	
維新博再び メモリアル展示始まる	令和元年10月19日	佐賀新聞	
「学術的な研究施設望ましい」佐賀市で東名遺跡シンポ	令和元年12月1日	西日本新聞	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
<p>明治維新150年(平成30年)を機に高まりを見せた、幕末佐賀藩をはじめとする佐賀の歴史や文化に対する市民の興味関心を、一過性のものとしめない取り組みが継続して必要である。</p>			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			
<p>著作権関係で新聞記事掲載なし</p>			

評価軸⑥-1

その他(効果等)

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目
その他(効果等) 佐賀市民意向調査

計画に記載している内容
市民や民間事業者などは当市の歴史的風致に関して理解を深め、その維持及び向上のため市の施策などに協力し、自らもその施策などの実現に向けて、多様な事業及び取り組みに積極的かつ主体的に参加することが求められる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

- 令和元年度
 - 施策「未来につなげる文化の振興」に対する現状の満足度：58.8%（全36施策中3位）【前年度調査比+4.8ポイント】
 - 日常の取り組み「歴史関連イベント等に参加・活動した割合」：24.6%【前年度調査比+7.6ポイント】

進捗状況 ※計画年次との対応
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

■佐賀市民意向調査

佐賀市総合計画において「政策展開の基本方向」を構成する36の施策を中心に質問を設定し、市民が「佐賀市の現状をどのように感じているか」、そして「これからの“まちづくり”についてどのような意見を持っているか」などを把握し、市民の声を市政に反映させることを目的として、毎年1回実施。

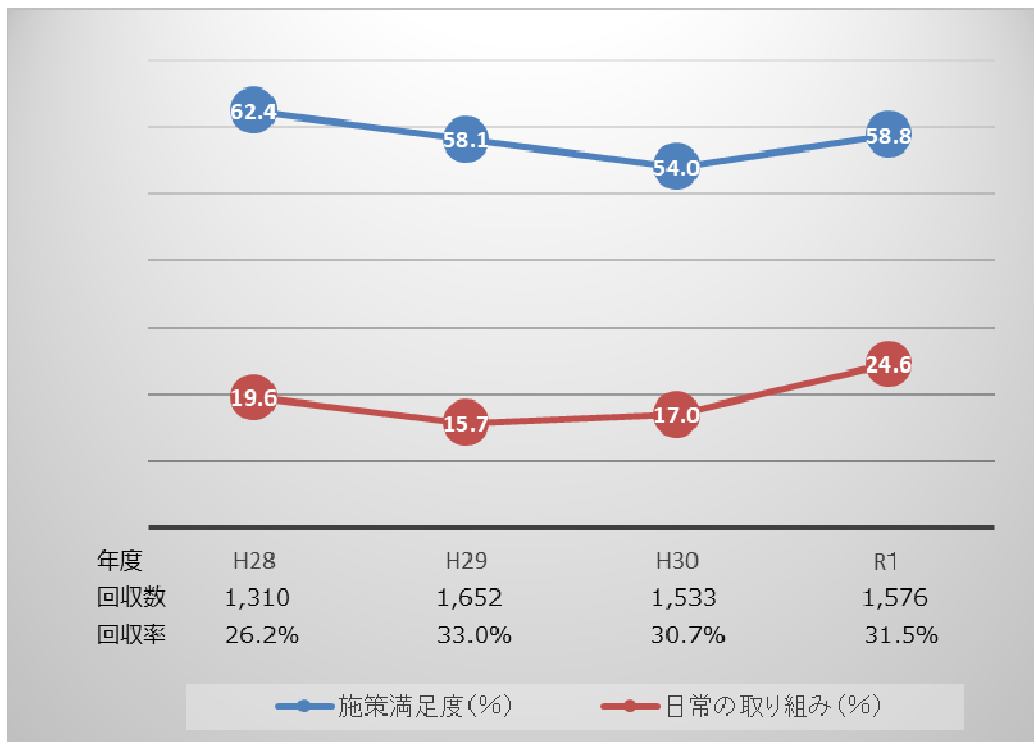
- 調査地域 佐賀市全域
- 調査対象 市内に居住する18歳以上の男女：5,000人
- 抽出方法 旧市町村ごとに住民基本台帳から年齢階層別に無作為抽出
- 調査方法 郵送による配布、郵送による回収

●施策に対する現状の満足度：「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた割合

- 施策名 未来につなげる文化の振興
- 成果目標 市民が子どもの頃から文化芸術や地域の歴史遺産に親しむ環境が整っており、市民自ら文化芸術活動や歴史遺産の保存・継承活動に取り組んでいる。

●日頃の生活における「取り組み」：「よく参加・活動した」と「ときどき参加・活動した」を合わせた割合

- 設問 過去1年間の間に、歴史関連のイベント等に参加したり、活動したりしましたか。



評価対象年度		令和元年度
・法定協議会等におけるコメント		
コメントが出された会議等の名称：佐賀市歴史まちづくり協議会		
会議等の開催日時：新型コロナウイルス感染症への感染防止の観点から書面開催		
(コメントの概要)		
<ul style="list-style-type: none"> ●公園整備や建物保存修理に加え、いけばなや和太鼓などの伝統文化に親しむ体験事業を展開する等、多岐にわたり積極的に取り組まれている。 ●親子遺跡巡りバスツアー等、とても良い企画。親子で歴史を学び、佐賀に誇りを持ち、もっと好きになってもらえると、歴史的なまちとして今後引き継がれると思う。歴史を題材にした「まちづくり」が実現し、佐賀が活性化することを願う。 ●歴史的風致形成建造物保存修理事業について、重点区域内に由緒ある寺社建築があるので、指定してはどうか。 ●長崎街道の道筋の明確化、見える形で「長崎街道」を示すことが必要。ウォーキングコース(自転車・散歩・健脚等に分けて)としてアピールするのも良いのでは。その際には、車いすや障がいの方々へ配慮したルートづくりも必要。 ●案内・説明看板及び誘導看板整備について、重点区域外の同様の既設看板についても同じデザインで設置を進めることとなっているが、実施されていない。 ●水路保全整備について、対象範囲の拡大や新設を行うべきではないか。 ●事業の継続・見直し等について、今後の見通しはどうなっているか。ほとんど進捗が見られない事業は、期間内にどのように進めていくのか。 		
(今後の対応方針)		
<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的風致形成建造物保存修理事業 寺社建築の建造物についても、指定基準・条件及び所有者の意向をふまえたうえで、必要に応じて指定を検討していく。 ○長崎街道再整備事業 長崎街道沿線に残る歴史的建造物等を探訪しながら気軽に歩けるよう、道筋を明確化することが目的。ルート設定やそのPRについても、関係部署で連携し取り組んでいく。 ○案内・説明看板及び誘導看板整備事業 重点区域外における案内・説明・誘導板の整備については、財政状況等を総合的に判断し、R4年度以降の新計画(2期計画)での実施も含めて、今後検討していく。 ○水路保全整備事業 水路保全整備については、市民等からの申請事業でもあり、範囲拡大等にあたっては、これまでの状況を検証したうえで、事業効果等を十分に検討する。 ○R4年度以降の新計画(2期計画)の策定を予定しており、各事業の継続、見直し、新規事業の実施など具体的な内容については、今後検討していく。 		